

全国高校生体験活動顕彰制度 「地域探究プログラム・オリエンテーション合宿 in とかしき」 募集要項

探究学習の手法を取り入れ、宿泊を伴うオリエンテーション合宿を通して、“離島”というフィールドを課題対象とした「地域課題の探究方法（実践活動を含む。）」を学習し、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力を身に付けるカリキュラムを実施する。

※全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」

- ・高校生（個人又は団体）は、機構各施設が募集する「地域探究プログラム・オリエンテーション合宿」に参加し、探究学習の手法を取り入れたカリキュラムを受講する。修了者へは修了証が発行される。
- ・合宿終了後、希望する者は、取り組む地域課題について実践活動を行い、実践活動報告書を機構へ提出する。報告書が受理された場合は、九州・沖縄ブロックの地方ステージでプレゼン発表ができる。
- ・さらに、地方ステージで選出された場合は、全国ステージでプレゼン発表ができ、優秀者には文部科学大臣賞等の顕彰がなされる。

○期 日：令和6年7月13日（土）～7月15日（月） 2泊3日

○場 所：国立沖縄青少年交流の家及びフィールドワーク地域

○対 象：日本在住の高校生及びそれに相応する学籍又は年齢にあるもの

○参加費：6,500円（施設利用料、食事代、保険代、環境協力税、雑費）

○申し込み：参加申し込みフォームに必要事項を入力し申し込みください。

参加申し込みフォーム：<https://forms.office.com/r/PhbLR68Db1>



○受付期間：令和6年6月21日（金）午前9時～令和6年6月27日（木）午後3時まで 必着

※先着順ではありません。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選の結果は、令和6年6月30日（日）までに連絡いたします。

○持ち物

- ・着替え ・帽子 ・タオル ・筆記用具 ・健康保険証（写しでも可） ・洗面、入浴用具（歯ブラシ、シャンプー、石鹸等）
- ・マイカップ（水筒可） ・雨具（カッパ） ・履きなれた靴 ・日焼け止め ・屋内用スリッパ ・常備薬（必要な方）
- ・酔い止め薬（必要な方） ・参加費（渡嘉敷島で初日に徴収します）

○その他

- ・とまりん駐車場ビル2階会議室に8時に集合・受付の後、ガイダンスを行い、交流の家職員と一緒にフェリーへ乗船します。（チケットの購入はありません。）帰りは渡嘉敷から戻って後、そのまま解散となります。
- ・アレルギー等、健康上の配慮が必要な場合は、必ず申込時にお申し出ください。
- ・食事代には、1日目の昼食・夕食、2日目の朝食・昼食・夕食、3日目の朝食、昼食が含まれます。
- ・オリエンテーション合宿終了後に各自で実施する実践活動は、オリエンテーション合宿において実施した内容に基づき、居住または通学する地域の課題を発見し、計画を立て、課題を解決する活動を5日間以上実践することとします。オリエンテーション合宿前から取り組んでいる活動（学校の総合的な探究の時間で取り組んでいる活動やその他の個人的な実践活動）については実践活動に含まれません。（地方ステージ、全国ステージの対象外となります。）
- ・荒天等で船舶欠航の場合は事業中止となります。

	8:00	8:15	9:30	10:00	11:30	12:00	13:00	14:00	16:30	18:00	19:00	20:30	22:00		
7/13 (土)	会議室 とまりん2F 集合・受付	ガイダンス	乗船	フェリー とかしき	移動	昼食	講話 「地域づくりの 実践」	フィールドワーク① 「地域の魅力を発見」	フリータイム	夕食	講義・演習① 「地域理解」	入浴	就寝		
7/14 (日)	起床	つどい	朝食	フリータイム	講義・演習② 「課題解決の 基礎」	「フィールドワーク② 地域課題の探究」	昼食	フィールドワーク② 「地域課題の 探究」	フリータイム	講義・演習③ 「地域課題の探究」	夕食	発表練習	入浴	フリータイム	就寝
7/15 (月)	起床・清掃	つどい	朝食	清掃チェック	発表①	講義・演習④ 「行動計画の 基礎」	昼食	発表②	実践活動の ためのガイダンス	エンディング	移動・乗船	フェリー とかしき	泊港着・解散		

○講師及びファシリテーター

(1) 講師

古波蔵 善之介（こはぐら よしのすけ）：渡嘉敷村商工会副会長、とかしくマリナビレッジ社長

- ・ 講話 「地域づくりの実践」

(2) ファシリテーター

宮里 恵太（みやさと けいた）：沖縄県立総合教育センター 指導主事

山口 栄臣（やまぐち えいしん）：沖縄県立美里工業高等学校教諭

- ・ FW①「地域の魅力を発見」
- ・ 講義・演習①「地域理解」
- ・ 講義・演習②「課題・解決の基礎」
- ・ FW②「地域課題の探究」
- ・ 講義・演習③「地域課題の探究」

○内 容（1 単位時間は 50 分）

- ・ ガイダンス（1 単位時間）
全国高校生体験活動顕彰制度の趣旨や内容、オリエンテーション合宿について理解する。
- ・ 講話「地域づくりの実践」（1 単位時間）
今後の活動に向けて、参加者の興味・関心事項を引き出すとともに、地域に魅力を感じ、よりよい地域づくりを実践していくための意欲を高める。
- ・ フィールドワーク①「地域の魅力を発見」（3 単位時間）
地域づくりに関する取組についての活動を体験し、その魅力を発見する。
- ・ 講義・演習①「地域理解」（2 単位時間）
地域理解をより深める為に、グループ協議においてフィールドワーク①で得た、個の気づきや発見を共有する。
- ・ 講義・演習②「課題解決の基礎」（2 単位時間）
探究のプロセスの考え方を学ぶ。自らの興味・関心をもとにした高校生らしい仮説（地域をよりよくするためのアイデア）を立てる。また、フィールドワーク②に向け、一人ひとりの仮説（アイデア）を検証するための質問や取組をグループで検討する。
- ・ フィールドワーク②「地域課題の探究」（3 単位時間）
地域の理解をより深める。講義・演習②で立てた仮説よりも詳細（発展的）な活動（解決策）を思案する。
- ・ 講義・実習③「地域課題の探究」（3 単位時間）
要点のまとめ方や簡潔な文章の基本について理解する。地域課題への気づきや発見を共有し、多面的・多角的に考察することで、より有効な活動を思案する。発表①の準備を行う。
- ・ 発表①（1 単位時間）
伝えたい内容を的確にまとめ、かつ相手に応じた表現をするための基礎を学ぶ。
- ・ 講義・演習④「行動計画の基礎」（2 単位時間）
行動計画の基本的事項を理解する。また、実践活動での行動計画を作成する。発表②の準備を行う。
- ・ 発表②（1 単位時間）
伝えたい内容を的確にまとめ、かつ相手に応じた表現を意識的に実践する。
- ・ 実践活動のためのガイダンス（1 単位時間）
実践活動を実施する上で安全管理や社会のルール・マナーを理解する。

※講師及び日程・内容については、都合により変更になる場合があります。

【問合せ先】 〒901-3595 沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷2760

国立沖縄青少年交流の家 企画指導専門職 島袋 亮治

TEL：098-987-2306 FAX：098-987-2318 HP：<https://okinawa.niye.go.jp/> E-mail：okinawa@niye.go.jp